

コロナ禍でも適切に受診しましょう

●持病の治療や予防接種・健診などの健康管理は大切です



■受診控えて手遅れに

発熱や咳、腹痛などの症状は新型コロナウイルス感染症に限りません。それ以外の病気の可能性もあるため、必要な受診を控えると手遅れになることもあります。また、定期的に飲んでいいる薬を切らすと、持病が悪化する可能性があります。

■予防・早期発見が重要

予防接種はタイミングを逃さず接種してください。健診も病気の早期発見・早期治療の大事な方法です。リハビリも可能な範囲で継続することが大切です。

●医療機関は感染防止対策に取り組んでいます



現在、福岡県では医療機関に感染防止対策の徹底をお願いしています。医療機関では、院内感染防止のガイドラインなどに基づき、感染対策に取り組んでいます。

さらに、患者さんにわかりやすいマークや自主的ガイドラインによる取り組みにより、しっかりした感染防止対策が行われています。安心して受診してください。

●まずは、かかりつけ医に相談



自己判断で受診を控えることで、慢性疾患の症状が悪化。体が新型コロナウイルスなどのウイルスに対抗できない状態になることがあります。

かかりつけ医に相談しながら健康や持病を管理していくことが、新型コロナウイルス対策として非常に重要です。心配な場合は、まずはかかりつけ医に相談しましょう。

冬が来る。インフルエンザにも要注意！

インフルエンザワクチン接種時期ご協力のお願い

新型コロナウイルスの感染が心配される中、今後はインフルエンザワクチンの需要が高まる可能性があります。本年は過去5年間で最大量のワクチンを供給予定です。より必要とされている人に確実に届くように、対象者・接種時期について右記のとおりご協力をお願いします。

■10月1日からは65歳以上の人 ※定期接種対象者
65歳以上の人や60歳以上65歳未満の慢性高度心・腎・呼吸器機能不全者など。

■10月26日からは上記以外の人
医療従事者や65歳未満で基礎疾患がある人、妊婦、乳幼児（生後6か月以降）～小学校低学年（2年生）で接種を希望する人は早めに申し込みをしてください。



感染予防をお願いします

予防接種／マスク着用や咳エチケット／手指の消毒
適度な湿度の保持／十分な休養とバランスの取れた食事

●問い合わせ 市保健センター (☎44-8270)

◆問い合わせ 田川保健福祉事務所 (☎42-9379)

HEALTH CARE

コロナ感染が怖いから、病院は受診しない。
それ、危険です

新型コロナウイルスへの感染を恐れて、受診を控える人が増えています。自己判断で受診を控え過ぎると、健康上のリスクが高くなります。かかりつけ医に相談し、適切に受診しましょう。

【参考】

「上手な医療のかかり方.jp」内
特設ページ(厚生労働省)

